

## 会員の感想・意見

「総合計画」の学習後、会員の感想や意見をまとめた手紙を作り、後日、職員方に手渡しました。中面に記載したほかにも、意見があがりました。

市内の各地区にそれぞれの地域なりの拠点をすることにより、その住民のまさに“拠り所”となって地域を活性化させる起爆剤となれることを期待します。

### 有るものを活用し、拠点づくりを!

昨年、生きがい支援センターを見学した際に、大きなお金をかけて建設・維持されているのに、あまり利用されていない現状に残念な気持ちになりました。

条例で使用できる人の条件が限られていることが要因のようです。このような施設も活用しながら、地域の拠点づくりを進めていただきたい。

福祉や教育よりも「経済をどう立て直すか」が第一に来るとするのは、最近の行政のトレンドのようです。他の項目をおろそかにしてはいけないということも考えていただきたいと思います。

優先順位は!



中山間地域では、今のままではさらに人口減少と少子高齢化が進み、“幸せに生きる”ことが難しくなる。人口減少に歯止めを掛けることを優先して取り組んでいただきたい。

限られた財源の中で市民の暮らしを豊かにしていくには、住民自治の力も活用していくべきだと思います。

### 住民の声をきいて!

住民も  
当事者として  
考えよう!

次代を担う小中学生や学生たち、まだつながっていない人たちも、だれひとり取り残さないように声を聞き、話し合いながら進めてほしい。

公共交通については「こいつとバス」の実証実験が始まったところですが、バスで動く習慣が無く、バス停に行くまでが大変な人もおり、定着させるのは結構難しいと思う。何か発想の転換が必要なのでは? また、この計画を作るにあたって、どれだけ丁寧に当事者の話を聞いたのかは気になることです。

# みなさんも、学んでみませんか?

## 自分で読む

## 職員さんに話を聞く

←おすすめ

「君津市総合計画」は



図書館で借りられます

No.53「君津市総合計画」63個のメニューが有り10人以上のグループで申し込みができます。※メニュー・申込書は生涯学習文化課、公民館、行政センターにあります。(市HPでダウンロード可能)

令和4年度 君津市生涯学習推進事業

### まちづくりふれあい講座

◆申込み先・問い合わせ先◆  
〒299-1152  
君津市久保 2-13-2  
君津市教育委員会生涯学習文化課  
TEL 0439-50-3980 (FAX: 54-9888)  
E-mail : shogaku@city.kimitsu.lg.jp

市の職員が直接みなさまのもとへ出向き  
市の事業や施策などをご紹介します

「君津の暮らしを考え隊」(問合せ先:Email [kurashitai2022@yahoo.co.jp](mailto:kurashitai2022@yahoo.co.jp) ↓)

Facebook ↓

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。  
※知り隊ニュースのバックナンバーは市内8公民館にあります。



仲間を  
募集中



君津の暮らしを考え隊

2022.12

## 知り隊ニュース No.21

広報を出す一方通行から  
一歩踏み出し  
皆さんと一緒に考えたい!

一緒に考えたい!

学習会&ワークショップ  
始めます



# 小糸地区で暮らし続けるには...

## 「住んでいる人が、どうしたいか」

君津市の新しい「総合計画」に掲げられた「拠点づくり」「こいつとバス」の運用が始まった小糸地区では、小学校の統合も経て、公民館の建替えもあります。これから、10年20年30年後も、小糸でどのように暮らしたいのか、住民の声をお聞きし、行政に届ける活動を進めたいと考えています。

あなたの地域や  
団体に伺います  
お声かけください



## 学習会

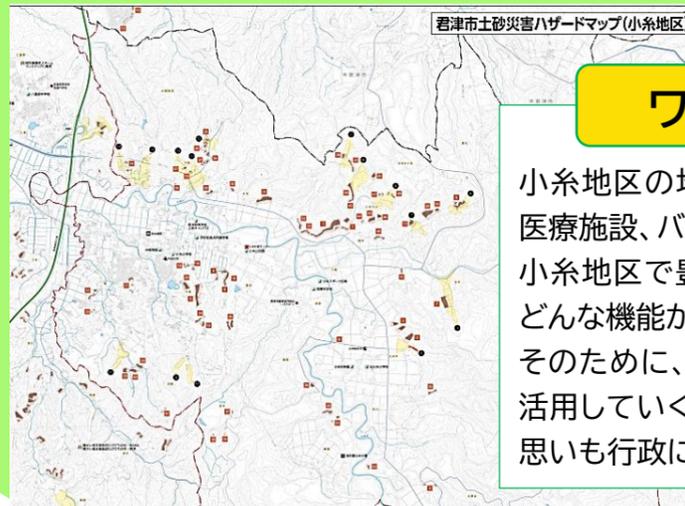
君津市の財政の現状を聞く 大塚成男教授  
15年前のような余裕は無い。広い市域には、高度経済成長期に建てた施設が多く、そのまま維持・建て替えをするお金は無い。将来、少子高齢化・人口減少により歳入は減少していく。地方交付税不交付団体ではあるが、それゆえの厳しさもある。

市の目指す方向性を聞く 企画政策部職員  
令和4年4月に策定された「総合計画」では、より良いまちになるためには、行政だけでなく市民や事業者も一緒にオール君津でまちづくりをする必要がある。また、「拠点づくり」では、小糸小学校周辺を中心に機能を充実する。

事前に会員だけで「総合計画」の学習会を実施。内容は次頁へ

## ワークショップ

小糸地区の地図で、公共施設や自治会館、医療施設、バス停等を確認しながら小糸地区で豊かに暮らし続けるためには、どんな機能が必要か、そのために、小糸地区の様々な施設をどう活用していくのか、話し合い、一人ひとりの思いも行政に届けたい



# 市が考える10年後の君津が見えてきた！

君津市総合計画の学習会(2022年7月15日実施)

【君津市総合計画】 企画政策部企画調整課  
 【拠点づくり】 企画政策推進課拠点形成推進室  
 2つの部署の担当職員さんから直接お話を伺いました。



## 君津市総合計画 令和4(2022)⇒令和12(2030)年度

むすぶ ～多様な「むすび」により君津の未来を創る～

### 将来ビジョンを実現するための柱

- 柱1 関連する分野 **経済、環境**  
経済と環境が調和したまち
- 柱2 関連する分野 **健康、福祉**  
誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

- 柱3 関連する分野 **子育て、教育、文化**  
安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち
- 柱4 関連する分野 **安全安心、都市基盤**  
快適で安心して暮らせるまち
- 柱5 関連する分野 **パートナーシップ、人権、行財政**  
ともに創る次世代につながるまち

君津市総合計画 P.34.35転載

【4つのテーマ別に職員さんのお話と会員の意見をまとめてみました】

### 戦略的プロジェクトイメージ

4つのテーマの相乗効果により、将来ビジョンの実現を加速させていきます



君津市総合計画 P.93転載

【ひとが輝き幸せつなぐ君津】市民の皆さんに納得・理解して頂く事が今後の課題です

市の職員や市民が本気でこれ信じて進んでいけるかが大きなカギですね

まちづくりは一人一人の取り組みの集合体です

私達市民の側からも主体的に関わっていく姿勢が大切です

暮らしの変革・知の変革・産業の変革「誰一人取り残さない」デジタル化に取り組みます

10年後20年後を見据えたまちづくりが必要です

命を守る「環境」と暮らしを守る「経済」を一つにまとめます

物事の両面をとらえて総合的に判断するという意味から良い方法ですね

縦割り行政をどこまで払拭できるかこれからの期待してます



## 拠点(集まる場所)づくり



拠点は地区の行政サービス、学習、活動等の根幹です。行政だけではなく、市民・各種団体・事業者・関係人口 **オール君津** でみんながまちづくりを「自分ごと」とし主体的に取り組むことが求められます。市民等が主役となってまちづくりを行い、地域の課題解決に向けて取り組み、産業や生活サービス機能等が集まる場所(拠点)を形成することで、地区の活力を牽引する拠点づくりを行う。

### 小系地区の構想・理念

- ◇「小櫃・小系・周西公民館建替基本計画」はR5年度までに策定予定
- 小系小学校周辺拠点機能充実
- 民間活力と連携した法木作周辺の利活用の促進
- かずさアカデミアパークを生かした企業間連携の推進



### 清和地区の先行事例

- ☆若い人も含め多くの市民の声を聴いた
- ☆市役所職員も交え長い時間をかけてディスカッション(討論)した
- ☆地域準備会(全11回)をしたくさんの時間をかけ意見を出しあった
- ☆新組織の立ち上げには民間企業も入り違った視点も加わり良かった

※知り隊ニュース18号参照

### 国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠 小系・清和地区の人口

	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢人口 (65歳以上)
平成 27 (2015) 年	11,099	962	5,949	4,188
令和 12 (2030) 年	8,712	755	3,988	3,968

数値：実績値(国勢調査)及び推計値(国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠)

### 会員の感想と期待

今後の拠点づくりも清和地区のように住民と共に進んでいく事を願います。

拠点づくりが目的ではなく、その先の市民の暮らしを拓き「幸せ」を実現していく事だと共感しました。

基盤となる公共施設の候補が無い地域をもDXでつなぐ案を伺いこれからの具体的な動きをする大切な時期とわかりました。